

令和7年 労働者死傷病報告受理件数表

令和7年8月末現在
群馬労働局

業種別	署別	高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条	群馬局計	前年同期	増減
製 造 業		76	2 161	28	134	14	27	3	2 443	1 481	1 -38
	食料品製造業	25	62	6	21	4	5		123	155	-32
建 設 業		30	45	6	16	4	6	3	110	3 123	-3 -13
	木造家屋等建築工事業	2	7	1	2		1	1	14	20	-6
運 輸 交 通 業		18	92	6	1 52	4	4	1	1 177	5 226	-4 -49
	道路貨物運送業	14	89	6	50	3	4	1	167	5 214	-5 -47
林 業			1	2		1 1			1 4	7	1 -3
小 売 業		37	77	14	27	11	4	3	173	1 149	-1 24
社会福祉施設		31	43	13	17	5	4		113	105	8
接 客 娛 楽 業		15	25	4	14	1 21	1	16	1 96	1 105	-9
	飲 食 店	10	13	3	9	3		1	39	57	-18
上記以外の事業		1 74	1 149	14	47	16	15	17	2 332	1 337	1 -5
	清掃・と畜業	9	30	4	7	4	2	3	59	1 63	-1 -4
計		1 281	3 593	1 87	2 307	2 76	61	43	7 1,448	12 1,533	-5 -85
前 年 同 期		2 293	2 605	1 93	3 353	2 83	2 54	2 52	12 1,533		
増 減		-1 -12	1 -12	-1 -6	-2 -46	-7	-2 7	-9	-5 -85		

災害の種類別

災害の種類別・署別		高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条	群馬局計	前年同期	増減
事故の 型別	墜落・転落	1 29	1 100	13	37	1 11	6	7	3 203	5 241	-2 -38
	転倒	98	155	26	80	23	18	16	416	383	33
	はさまれ・ 巻き込まれ	38	63	10	40	8	9	2	170	171	-1
	切れ・こすれ	11	43	5	21	7	4	1	92	103	-11
	動作の反動・ 無理な動作	32	93	16	51	10	9	8	219	254	-35
起因物 別	建設機械等	2	12		3		1	2	20	11	9
	食品加工用機械	1	19		2		1	1	24	26	-2
	トラック	11	46	4	25		2	3	91	3 124	-3 -33
外国人の災害		16	60	6	53	6	3	1	145	141	4
建設公共工事の災害		4	5	1	2	1	2	1	16	20	-4

- 注1 この表は、死亡及び休業4日以上労働者死傷病報告を集計しています。
 2 各項目の下欄は死傷者数合計、上欄は死亡者数で下欄の数の内数です。
 3 下の表は災害の種類別で、特に項目を設定して集計しています。
 4 新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害を除いたもの。

別表 新型コロナウイルス感染症へのり患による労働災害発生状況（業種別内訳）

令和7年8月末
群馬労働局

業 種	令和7年	令和6年	対前年
	死傷者数（人）		増減（人）
製造業			0
鉱業			0
建設業			0
交通運輸事業			0
陸上貨物運送事業			0
港湾運送業			0
林業			0
農業・畜産・水産業			0
商業	3	2	1
うち小売業	3	2	1
金融・広告業			0
通信業			0
保健衛生業	52	260	-208
うち医療保健業	15	126	-111
うち社会福祉施設	37	134	-97
接客娯楽業		2	-2
うち飲食店		2	-2
清掃・と畜業			0
警備業			0
その他	0	0	0
全業種計	55	264	-209

※ 労働者死傷病報告により作成

令和 7 年 死亡災害事例

令和 7 年 8 月 末 日 現 在
群 馬 労 働 局

番号	発生月 発生時間帯 事業場規模	年 齢 職 種	災 害 の あ ら ま し	業 種	事故の型別	起因物別
1	1 月 11時頃 30～49人	60歳代 警備員	市道沿いの工事現場で交通誘導を行っていたところ、走行してきた軽乗用車にはねられた。	警備業	交通事故	乗用車・バス・バイク
2	2 月 13時頃 1～9人	40歳代 作業員	かかり木となっていた胸高直径35cm、樹高18mの檜の木を処理するため、かかられている桜の木をチェーンソーで伐倒したところ、檜の木が予定とは異なった方向に倒れ、下敷きになった。	木材伐出業	激突され	立木等
3	4 月 8時頃 100～299人	70歳代 作業員	スキー場でコースを点検中(最大傾斜32°)の被災者が、コース内をうつ伏せに倒れて滑り落ちている様子をリフト係員が発見し、平地で止まった被災者に同係員が声をかけるも意識はなく、医療機関に搬送されたが死亡した。	その他の接客娯楽業	2メートル以上からの墜落・転落	その他の環境等
4	5 月 16時頃 30～49人	40歳代 作業員	工場内の中天井に上がり移動していたところ、明かり取りのウレタンボードを踏み抜き、6.7m下のコンクリート床に激突した。	その他の金属製品製造業	2メートル以上からの墜落・転落	その他の仮設物、建築物、構築物等
5	7 月 21時頃 1～9人	60歳代 運転手	随伴車両で乗客を追走中、道路わきの電柱に激突した。	その他の道路旅客運送業	交通事故	乗用車、バス、バイク
6	7 月 8時頃 10～49人	40歳代 作業員	化学工場の設備の点検のため、設備の屋上（高さ26.0m）にて作業中に墜落した。	その他の卸小売業	2メートル以上からの墜落・転落	作業床、歩み板
7	8 月 4時頃 300～499人	20歳代 作業員	化学物質の製造ラインにおいて、当該物質を加圧する加圧槽の配管が何らかの原因により爆発し、巻き込まれた労働者 A が熱傷性ショックにより死亡した。	無機・有機化学工業製品製造業	爆発	圧力容器

注)記述内容は上記期日時点の情報を取りまとめたものであり、今後、変更になる可能性があります。